

四 札付

原曲…アンロケイテッドヘル

徒花 我の番 行き着く果てまで
裏腹 札付くまま誘う黄泉の穴

使い古し 刻まれたヒビ数えれば
ひとつふたつ重み増していく言霊
すり替わる知識はとうに掌の上転がって
逃げ出す 落ちて
火の粉を払う

掴み継り嫌われた君匿えば
一人二人恨み募りゆく盃
成り変わる意識と常軌逸してみたって 口直し
飛び付く 浮かぶ
波紋はもう

くらくら目眩がする
いくつ巴か
待ち人来たりて平衡崩せば
徒花 我の番 行き着く果てまで
薔薇 薔薇 研ぎ澄ます棘の先

傷の目に突き立てる感触を知る
流れ出すひどく熱い滴り
両手はもう塞がれているけど
言の葉を広げて包み隠すだろう

語り部は 切り取る 奥の奥まで
歯車は 噛み付き 錆び欠けるまで
晒すなら 手の中 面の皮だけ
叩くなら 擦り込み 骨の髄まで
近寄らば 招かれ 囲み取り憑く
離れては 追い付く 地の果てまでも
入れ替わり ハリボテ 立ち回るなら
何処であろうと旗を上げる

突き立てる感触はまだ
流れ出す滴りを覚える

両手はもう塞がれているけど
言の葉で紡ぐ仮初の蜘蛛の糸

両手にも抱え切れやしないて